

2023 年春学期

フランス・アラカルト・セミナー

札幌日仏協会よりフランス通の講師を迎えて、様々な角度からフランスの魅力に迫ります。
1回 1,500円、定員あり（要予約）※日本語で行われます

4月8日（土）16h30～18h00

知られざるフランスとアイヌの人々との繋がりを探る（4）

松前藩家老 蠣崎波響の最高傑作とされる「夷酋列像」がフランス プザンソンに渡ったナゾを解くシリーズ4回目。いよいよ今回からナゾの核心に迫ります。最も怪しいとされるのが幕末の箱館に4年間、滞在したフランス人神父、メルメ カシオンです。カシオンは現在のカトリック元町教会の創設者であり、出身地はプザンソン近郊の村でした。カシオンの足跡を辿ってみましょう。

講師：加藤利器（元北海道新聞パリ特派員、札幌日仏協会理事長）

4月14日（金）19h00～20h30 Zoom

フランス語で読む「やさしい」詩と「むずかしい」詩2編（1）

ここに言う「やさしい」、「むずかしい」は語学的難易度を指すこともあれば文学的味わいについて言われることもあります。初回は *La Mer* (Charles Trenet) と *Brise marine* (Stéphane Mallarmé) を取り上げます。（1回完結形式）

講師：高橋純（小樽商科大学名誉教授）

5月19日（金）18h30～20h00

定例！春のフランス語句会

季題は自由です。

※コロナ感染の状況によっては Zoom でのオンライン句会になります。

講師：江口修（小樽商科大学名誉教授）

6月23日（土）19h00～20h30

「〈生〉の諸相 ～ミシェル・アンリとニーチェ」 Zoom

ミシェル アンリは〈生〉をこの上なく重視した哲学者ですが、その発想の背景には、ニーチェの深い影響があります。この講義では特にニーチェの『悲劇の誕生』を主題としながらそのアンリへの影響を考え、〈生〉の諸相を捉えることを目指しましょう。

※ 変更の可能性あり

講師：村松正隆（北海道大学大学院文学研究院教授）

札幌アリアンス・フランセーズ TEL：011-261-2771

札幌市中央区南2条西5丁目10-2 南2西5ビル 2F